

外 国 語 学 部

共通基礎科目

科目コード	科目名	指定	年次	単位	期間	担当者
34001	言語研究の基礎 A	選・必	2	2	前期	青柳 宏
他の科目との関連				他学科履修	可	重複履修 不可

【副題】 日英語の音韻と形態

【講義内容】 現代理論言語学の諸領域のうち、音韻論と形態論を概観しながら日本語・英語などの個別言語のデータをどう分析するかも学んでゆく。また、普遍文法 (UG) の観点から言語類型論を考える。

【講義計画】 各領域の概説、練習問題、質疑応答など。

【評価方法】 出席を重視し、定期試験の他に、2、3回のレポートを課す。

【テキスト】 各種プリント

科目コード	科目名	指定	年次	単位	期間	担当者
34002	言語研究の基礎 B	選・必	2	2	後期	有元 将剛
他の科目との関連				他学科履修	可	重複履修 不可

【副題】 英語、日本語の統語論

【講義内容】 現代言語学の基本概念を学ぶ。言語学の基本領域である音韻論、形態論、統語論、意味論のうち、特に統語論に焦点をあて、最近の言語理論の基礎について述べ、言語分析の方法を学ぶ。英語と日本語（あるいは他のどの人間言語も）一見大変違う言語のように思われるが、無原則に異なっているのではないこと、共通に働く普遍文法 (UG) があることなどを論じる。統語論という言葉を初めて聞くと難しく思うられるかも知れないが、我々がなげなく使っている言葉に背後に隠れている言語の仕組み、規則性に気がついてもらえたらと願っている。

【講義計画】 講義形式ではあるが、適宜、質疑応答を含める。一方的に講義するのではなく、一緒に考えていきたい。

【評価方法】 期末試験、小さなレポートなどで総合的に評価する。

【テキスト】 各種プリント

科目コード	科目名	指定	年次	単位	期間	担当者
34003 34004	言語研究の基礎 C・D (スペイン語史)	選・必	2	各2	前期 後期	大岩 勉
他の科目との関連				他学科履修	可	重複履修 不可

【講義内容】 「現代スペイン語は、どのような特徴・個性を持った言語なのか」について、特に音韻面から考察する。現代スペイン語の動詞で *sentí, sentiste, sintió, sentimos, sentisteis, sintieron* と 3人称で [e>i] と変化していて、不規則動詞だと説明されている。しかし、これは、動詞だけでなく総ての品詞に関して見られるスペイン語の音韻変化の一般的な原則に従った規則的な変化であることを理解できれば、それだけでも収穫は大きいであろう。

【講義計画】 前期授業予定総数 12 回で以下の内容を扱う。

- 4 月 (2 回) : (1) Bibliografía sobre el estudio de la lengua española
(2) Las lenguas romances = el latín vulgar
(3) El latín clásico vs. El latín vulgar
5 月 (4 回) : (1) Situaciones hasta el nacimiento del castellano

- (2) Arabismos
- (3) Los órganos articulatorios
- (4) El sistema de las vocales
- 6月(4回) : (1) Las cuatro clases de Yod
- (2) Vocales acentuadas
- (3) Influencia de la Yod
- 7月(2回) : (1) Vocales inacentuadas
- (2) Hiato

【講義内容】 後期の講義内容は「子音の変遷」「格変化の崩壊」「動詞変化に見られる規則性」などに焦点を合わせ講義していく。時間が許せばスペイン語成立以降の資料などにも触れたいと思う。

【講義計画】 後期授業予定総数13回で以下の内容を扱う予定。
 9月(1回) : El sistema de las consonantes
 10月(4回) : La evolución de las consonantes
 Consonantes iniciales simples y agrupadas
 Consonantes interiores simples, dobles y agrupadas
 11月(4回) : Grupos de tres consonantes
 Grupos interiores romances
 Consonantes finales
 12月(3回) : Asimilación
 Los casos y las desinencias
 Género
 1月(1回) : El sistema de los verbos

【評価方法】 定期試験の結果と授業時の応答、出席状況など総合評価

【テキスト】 プリントを配布する。

科目コード	科目名	指定	年次	単位	期間	担当者		
34005	言語研究の基礎E(文法論入門)	選・必	2	2	前期	斎藤 衛		
他の科目との関連					他学科履修	可	重複履修	不可

【講義内容】 Introduction to syntactic analysis. Topics include phrase structure, subcategorizational, and transformational rules. Data will be drawn mostly from English and Japanese, but we will be concerned with the universal properties of human language. The classes will be conducted in English.

【評価方法】 2 problem sets and the final examination.

【テキスト】 Will be distributed in class.

科目コード	科目名	指定	年次	単位	期間	担当者		
34051	文学研究の基礎A	選・必	2	2	前期	橋本 恵		
他の科目との関連					他学科履修	可	重複履修	不可

【講義内容】 はじめに、理論編として、文学研究に必要な基礎知識と作品を分析するための方法論を学ぶ。次に応用編として、詩や短編小説などの作品をとりあげ、これまでに学んだ概念、分析方法を用いて、読解する。

【講義計画】 受講者の口頭発表および担当者の講義。

【評価方法】 口頭発表などによるクラスへの貢献度および定期試験。

【テキスト】 配布資料

科目コード	科目名	指定	年次	単位	期間	担当者
34052	文学研究の基礎B	選・必	2	2	後期	堀部 充
他の科目との関連				他学科履修	可	重複履修 不可

【副題】 短編小説を味わう

【講義内容】 英語で書かれた（翻訳を含む）短編小説を精読しながら、小説の鑑賞、分析、批評の基礎的な学習を目的とする。

【講義計画】 英米の短編小説を中心に短編を分析的に精読する作業をとおして、文学作品の重要な要素であるプロット、視点、人物描写、トーン、文体、象徴、主題等が作品の中にどのように表現されているか、あるいはいかに効果的に使われているかを考えたい。毎週一篇の作品を読み（小テストを含む）、討論、講義の形で授業をすすめる。作品分析のレポートを課す。

【評価方法】 授業への出席、討議への貢献、レポート、期末試験を総合的に評価する。

【テキスト】 プリント

科目コード	科目名	指定	年次	単位	期間	担当者
34053 34054	文学研究の基礎C（スペイン中世・黄金世紀） 文学研究の基礎D（スペイン近・現代）	選・必	2	各2	前期 後期	佐竹 謙一
他の科目との関連				他学科履修	可	重複履修 不可

【講義内容】 前期は、中世および黄金世紀の前半（ルネサンス）までのスペイン文学について考えてみたい。扱う作品は、『エル・シッド』、『よき愛の書』、『ラ・セレスティーナ』、『ラサリーリョ・デ・トルメスの生涯』、『ドン・キホーテ』などで、他にも重要と思われる作家について触れる予定である。

後期は、スペイン・バロック演劇から始め、新古典主義、ロマン主義、い写実主義、自然主義、98年代、27年代へと進み、それぞれの時代の代表作をとりあげ、解説したいと考えている。

【評価方法】 筆記試験による評価。

【テキスト】 基本的には指定図書参考書を読んでもらうことにするが、必要に応じてプリントを配布する。

科目コード	科目名	指定	年次	単位	期間	担当者
34101	外国語教育の基礎A	選・必	2	2	前期	松永 隆
他の科目との関連				他学科履修	可	重複履修 不可

【講義内容】 外国語を教えるということは何をどのように教えることなのか？ 発音、意味・統語構造に関わる文法規則、センテンスを超えたレベルの談話構造に関わる規則、社会・文化的な行動規範など多方面にわたる。外国語教育と密接な関連のある言語学、心理言語学、社会言語学、神経言語学といった分野からの外国語教育への提案を概観する。特に談話構造のルールを詳細に取り上げ、コミュニケーション能力の向上を目指すためにはどうしたら良いのか考えてみたい。

【講義計画】 次の項目を取り上げていく：

- 1) 外国語教育と関連分野
- 2) 外国語教育と学習者要因・学習環境
- 3) 談話構造のルールとコミュニケーション能力

4) 世界の英語教科書比較

【評価方法】 隔週実施する小テスト、グループによるレポートあるいは定期テスト、出席を総合的に評価する。なお、欠席時数が授業科目の授業予定総時数の3分の1を超えた場合、当該授業科目の成績を「欠席過多(S)」による不合格とする。

【テキスト】 プリントを使用

科目コード	科目名	指定	年次	単位	期間	担当者
34102	外国語教育の基礎B	選・必	2	2	前期	駒井 明
他の科目との関連				他学科履修	可	重複履修 不可

【講義内容】 外国語教育には理論と実践の二面がある。どんなに優れた理論であっても、実際の教育現場でそのまま応用できることは皆無に近く、現場の教師は妥協と修正を余儀なくされるのが常である。いろいろな外国語教育論を検討しながら、その理論を現場で応用するのはどのような問題があるか、またその問題を解決するにはどうしたら良いかを考える。

【評価方法】 平常点とクイズ及び期末試験の結果

【テキスト】 プリント・・ほとんどが英語で書かれた論文

科目コード	科目名	指定	年次	単位	期間	担当者
34151	コミュニケーション研究の基礎A	選・必	2	2	前期	岡部 朗一
他の科目との関連				他学科履修	可	重複履修 不可

【副題】 コミュニケーションの本質をよりよく理解するために

【講義内容】 3、4年次に開講される外国語学部英米科のコミュニケーション関連の「演習」、あるいは「人間関係とコミュニケーション」「政治とコミュニケーション」「異文化とコミュニケーション」「コミュニケーション特殊研究」といったコミュニケーション関連の専門科目をよりよく理解するための基礎科目として、本授業を位置づけたい。人間のコミュニケーションをどのように見たらよいか、その研究はどのようなものか、その領域に対してどのような研究上の接近法があるかといった諸点を、主に質的な分析/批評学的視点から講義を行う。

【講義計画】 講義では、次のようなトピックを扱いたい。

- コミュニケーションという学問領域
- コミュニケーション研究への接近法
- コミュニケーションの基礎概念
- 対人コミュニケーションの特質とその分析法
- 言語コミュニケーションと非言語コミュニケーションの特質とその分析法
- 小集団(スモールグループ)コミュニケーションの特質とその分析法
- 公的(パブリック)コミュニケーションの特質とその分析法

【評価方法】 1回の定期試験、クラスで配付されるReading Materialに関する小テスト、コミュニケーションに関する分析レポート、それに毎週の授業時に行う出席調査(受講者よりのフィードバック紙)を総合的に考慮して、最終評価を出す。

【テキスト】 必須図書資料:

- 1) 岡部朗一『異文化を読む一日米間のコミュニケーション』東京:南雲堂、1988年。
- 2) Reading Material(授業時に配布するプリント資料)
- 3) 「講義概要」(授業時に配布するプリント資料)

その他の参考書:

- 1) 石井敏、岡部朗一、久米昭元『異文化コミュニケーション—新・国際人の条件(改訂版)』東京:有斐閣、1996年。

科目コード	科 目 名	指 定	年 次	単 位	期 間	担 当 者		
34152	コミュニケーション研究の基礎B	選・必	2	2	後期	近藤 祐一		
他の科目との関連					他学科履修	可	重 複 履 修	不可

【副 題】 コミュニケーションの本質をよりよく理解するために

【講義内容】 この授業は、3、4年次に開講される英米科のコミュニケーション関連科目を履修するための基礎科目であると共に、「コミュニケーション」とは何かを理論と実習を通じて学ぶことを目的とする。我々が普段何気なく行っている「コミュニケーション行動」をどういう視点で捉え、それをさらにどう分析するかを主に量的な研究を基本にして考える。

【講義計画】 次の項目を順に追って進める。

- ・ コミュニケーションとは何か
 - ・ コミュニケーションという領域の視点
- ・ コミュニケーションの基礎的な概念
 - ・ コミュニケーションのモデルとキーワード
- ・ 言語によるコミュニケーション
 - ・ 言葉はどこまでコミュニケートできるのか
- ・ 非言語によるコミュニケーション
 - ・ 言葉以外の伝達手段でコミュニケートできるのか
- ・ 対人コミュニケーション
 - ・ あなたと私のコミュニケーション
- ・ 複雑なコミュニケーション
 - ・ 小さな集団や公的なコミュニケーション
- ・ テレビとコミュニケーション
 - ・ テレビは何をコミュニケートしているのか
- ・ 文化を越えたコミュニケーション
 - ・ 異なる文化背景を持った人たちはどうをコミュニケートできるのか

授業は、講義、実習を中心に行うが、課外でのプロジェクトを科す。授業に関する資料も適時アサインする。課外での授業に必要な学習時間は約5時間。

【評価方法】 この授業の評価は中間と期末試験（各50%）により行う。

科目コード	科 目 名	指 定	年 次	単 位	期 間	担 当 者		
34153	コミュニケーション研究の基礎C	選・必	2	2	後期	横山 輝雄		
他の科目との関連					他学科履修	可	重 複 履 修	不可

【副 題】 コミュニケーション論の諸問題

【講義内容】 コミュニケーション論は、学際的学問領域である。哲学、言語学、社会学、心理学、人類学、さらには生物学や情報科学などのさまざまな分野と関係している。人間の意味的相互行為としてコミュニケーションをとらえる視点を中心として、社会的コミュニケーションや言語コミュニケーションの諸問題を概観する。テキストを使用し、各講義時間にそれについての質議応答を含めて授業を進める。

【講義計画】

1. 言語の獲得と発達過程
2. 言語的コミュニケーションと思考様式
3. コミュニケーションと認知科学
4. コミュニケーションと哲学
5. 動物のコミュニケーション
6. ノンバーバル・コミュニケーションの機能と理解
7. メッセージの分析
8. 広告のコミュニケーション
9. うわさ話とメディアの役割
10. コミュニケーションと説得
11. テレビゲームとコミュニケーション

12. 異文化コミュニケーション

【評価方法】 毎週の授業への参加状況と定期試験（筆答）による。

【テキスト】 橋本良明編『コミュニケーション学への招待』（大修館書店）

科目コード	科 目 名	指 定	年 次	単 位	期 間	担 当 者
34202	政治研究の基礎B	選・必	2	2	後期	岩野 一郎
他の科目との関連				他学科履修	可	重複履修 不可

【副 題】 『政治の諸要素－アメリカ合衆国の事例を通じて』

【講義内容】 本講義は外国語学部の学部共通科目のうちで、三・四年次に地域研究に関連した科目を主として履修しようとする学生に対し、政治を理解するための基礎的な知識を与えることを目的としている。政治研究の基礎となる権力・国家・主権・立憲主義などといった諸概念から始め、その実際例を主としてアメリカ合衆国に求めながら、政治の三権である司法・立法・行政、それを支える枠組みとしての憲法、国民の政治過程への参加を保証するための諸制度である選挙・政党・圧力団体やその背後にある考え方を学んでいく。

【講義計画】 まず政治の基礎である権力や正統性、民主主義・人民主権などの基礎概念を説明する。次いで立憲主義の説明に引き続き、合衆国憲法の成立とその背後の問題に触れる。さらに、行政（大統領制）、立法（連邦議会）、司法（最高裁判所）の順に議論を進める。アメリカの政治制度の特色となっている連邦制の意味を考察するために、州と地方政治を眺め、それらをまとめる意味で国民の政治参加を制度的に保証している選挙権や代表制の展開を検証する。事例はアメリカ合衆国のものを主として用いるが、日本の場合をも比較しながら講じてみたい。

【評価方法】 評価は学期中間に課すレポートと、期末試験の結果によって行う。大教室であっても、学生との対話を行的ながら授業を進めるので、積極的な参加を期待している。

【テキスト】 Schroeder, Richard C. and Nathan Glick. 1990. An Outline of American Government. United States Information Agency.

【参考文献】 阿部齊・久保文明・川出良枝『政治学入門』放送大学教育振興会 1996年

科目コード	科 目 名	指 定	年 次	単 位	期 間	担 当 者
34251	社会学研究の基礎A	選・必	2	2	前期	R. Riemer
他の科目との関連				他学科履修	可	重複履修 不可

【副 題】 Principles in the Study of American Sociology

【講義内容】 This course will deal with those aspects of the human being which relate to the Social Environment. First we will ask whether the search for systematic knowledge of social behavior is possible and meaningful through the study of Sociology. Second we study how an individual becomes a member of his social group. This includes a study of socialization and an understanding of what culture is. Then we will study group behavior. We examine how a person acts in a small group and in a large group. Especially racial groups, ethnic groups and social class groups are studied. This includes an understanding of prejudice and discrimination.

【講義計画】 Lectures each week will deal with the following topics.
 1. The meaning of sociology and its history
 2. Society, Evolution, and Culture
 3. Socialization and Personality Development
 4. Communication and Social Interaction in Everyday Life
 5. Social Groups and Control within Social Groups

- 6. Social Class system in America and in the World
- 7. Racial and Ethnic Groups

- 【評価方法】 1) Two objective tests will be given in the semester.
2) Final exam will consist of a short report on a topic assigned by the teacher.

【テキスト】 SOCIOLOGY: A Brief Introduction by Alex Thio 5th Edition, 1998 (Chapters 1 through 11)

科目コード	科目名	指定	年次	単位	期間	担当者
34252	社会学研究の基礎B	選・必	2	2	後期	R. Riemer
他の科目との関連				他学科履修	可	重複履修 不可

【副題】 Major Social Institutions in American Society

【講義内容】 This course will deal primarily with the five major social institutions found in every society. They are: The Family, Education, Religion, The Economy, and Government. Both the variety of forms of each institution is discussed and the common traits in every culture are pointed out. Also, Population, the Rise of big Cities, and Social Change are treated so that a better understanding is seen in how societies evolve.

【講義計画】 The weekly lectures will touch upon the following topics:
1. The Family and Relationships between Men and Women
2. Education and Religion
3. The Economy and Government
4. Population and Health
5. Differences between Rural and Urban Life Styles
6. Social Change

【評価方法】 1) Two objective tests will be given in the semester.
2) Final examination will consist of a short report on a topic assigned by the teacher.

【テキスト】 SOCIOLOGY: A Brief Introduction by Alex Thio 5th edition, 1998 (Chapters 12 through 23)

科目コード	科目名	指定	年次	単位	期間	担当者
34301	思想研究の基礎	選・必	2	2	前期	櫻井進
他の科目との関連				他学科履修	可	重複履修 不可

【講義内容】 思想研究の方法と具体的分析を行う。特に、1968年以降の現代思想の展開を重点に置きながら、同時に、近代哲学の展開をも視座に入れる。

【講義計画】 (1) 1968年の思想史的意義
(2) 現代哲学の展開
(3) 言語論的展開
(4) 無意識の発見
(5) 労働と社会
(6) 後期資本主義社会の哲学的省察

【評価方法】 筆記試験による

科目コード	科 目 名	指 定	年 次	単 位	期 間	担 当 者
34351	経済研究の基礎A	選・必	2	2	前期	西村 貞雄
他の科目との関連				他学科履修	可	重複履修 不可

【副 題】 経済分析の基本的フレームワーク

【講義内容】 経済問題を理解する上で必要な経済学の基礎を修得することを目的とする。経済学の基礎理論にはミクロ経済学とマクロ経済学の2つの柱があるが、経済研究の基礎Aではミクロ経済学の基本について講義する。理論の技術的な細部に分け入るよりも、考え方の基本を説明するようにしたい。

【講義計画】 ミクロ経済学
 1. 消費者行動と需要曲線
 2. 企業行動と供給曲線
 3. 市場均衡と競争市場の効率性
 4. 独占市場と不完全競争
 5. 市場の失敗

【評価方法】 1・2回練習問題などについてレポート提出を求める予定。成績はこのレポートと定期試験に基づいて評価する。

【テキスト】 検討中。

科目コード	科 目 名	指 定	年 次	単 位	期 間	担 当 者
34352	経済研究の基礎B	選・必	2	2	後期	西村 貞雄
他の科目との関連				他学科履修	可	重複履修 不可

【副 題】 経済学の基礎概念と応用

【講義内容】 経済研究の基礎Bではマクロ経済学の基本的な考え方を説明する。学部 성격から国際関係に関心を抱く学生諸君が多いため、国際経済学の初歩も講義する予定である。前期の「経済研究の基礎A」を履修していることが望ましい。

【講義計画】 マクロ経済学
 1. 有効需要の理論と国民所得の決定
 2. 金融市場の機能
 3. マクロ市場均衡
 4. インフレーションと失業
 国際経済学の初歩
 1. 国際貿易と比較優位
 2. 国際収支と為替レート

【評価方法】 1・2回練習問題などについてレポート提出を求める予定。成績はこのレポートと定期試験に基づいて評価する。

【テキスト】 検討中。

科目コード	科 目 名	指 定	年 次	単 位	期 間	担 当 者
34353 34354	経済研究の基礎C・D	選・必	2	各2	前期 後期	安原 毅
他の科目との関連				他学科履修	可	重複履修 不可

【副題】 ミクロ経済学、マクロ経済学の基礎

【講義内容】 3年次以降の地域研究科目の準備として、経済学の基礎的な理論を解説する。経済学の初心者を対象とするが、最終的にはある程度のレベルの理論まで言及するので、経済問題に関心のある学生に受講してもらいたい。

【講義計画】 前期：1. ミクロ経済学
2. マクロ経済学
2-1：国民所得の理論
2-2：消費、投資、貯蓄の理論
後期：1. 貨幣の需要、供給
2. IS-LMモデル
3. 総需要、総供給モデル

【評価方法】 筆記テストによる

【テキスト】 コピーを配布

科目コード	科目名	指定	年次	単位	期間	担当者
34401	国際関係論の基礎A	選・必	2	2	前期	宮川 佳三
他の科目との関連				他学科履修	可	重複履修 不可

【副題】 国際関係を見る目：国際社会のダイナミズム

【講義内容】 第二次大戦終結後の国際連合を中心に世界の平和と安定が期待されたが、期待に反する形で米国とソ連のイデオロギーの対立が「冷戦」状況を生み出した。(ある学者は「冷戦」を「長い平和」と呼んでいる。) その「冷戦」は約7年前に終わった。この7年間世界には次々に問題が多発し、国際関係は複雑で「混沌」と言っている状況になってきた。「冷戦」にかわる「新しい秩序」はまだ打ち立てられていない。国際関係は今までは異なった問題の増大を予測させる。人口・食糧・資源・環境問題等は国家単位で解決できる問題ではなく、地球規模での解決が必須である。「文明の衝突」の問題、地域主義の問題も提起されている。国際関係を理解するための基礎的知識を提供する。

【講義計画】 本講では、現在の国際関係ができてきた推移を、歴史的な観点から、特に大航海時代以降の国際社会の発展——大国の興亡の点で——の観点からとらえる。ボックス・ブリタニカの時代、ボックス・アメリカナの時代、第二次大戦後の米ソの対立の世界の在り様、バランス・オブ・パワーとはどういうことか、戦争と平和の問題、第二次大戦後の経済・貿易レジーム—IMF・GATT—等の理解を深める。

何より今日の国際社会の政治・経済の問題に関心を持ち、注意を向けることが必要である故、毎日、新聞・テレビの報道に接することが求められていることを履修者は認識すること。

【評価方法】 レポート or ブック・レビュー一点、定期試験、出席に基づき総合的に評価。

【参考図書】 日本経済新聞社編『国際関係入門』
猪口邦子『ポスト覇権システムと日本の選択』（ちくま文庫）
高坂正堯『国際政治』（中公新書）
入江 昭『日本の外交』（中公新書）
野林健他『国際政治経済学・入門』（有斐閣）
原彬久編『国際関係学講義』（有斐閣）
高田和夫編『国際関係論とは何か』（法律文化社）
カント著『永遠平和のために』（岩波文庫）
トーマス・ペイン著『コモン・センス』（岩波文庫）

科目コード	科目名	指定	年次	単位	期間	担当者
34402	国際関係論の基礎B	選・必	2	2	後期	宮川 佳三
他の科目との関連				他学科履修	可	重複履修 不可

【副題】 グローバル時代の国際社会と日本

【講義内容】 第二次大戦終結後の国際連合を中心に世界の平和と安定が期待されたが、期待に反する形で米国とソ連のイデオロギーの対立が「冷戦」状況を生みだした。(ある学者は「冷戦」を「長い平和」と呼んでいる。) その「冷戦」は約7年前に終わった。この7年間世界には次々に問題が多発し、国際関係は複雑で「混沌」と言っている状況になってきた。「冷戦」にかわる「新しい秩序」はまだ打ち立てられていない。国際関係は今までとは異なった問題の増大を予測させる。人口・食糧・資源・環境問題等は国家単位で解決できる問題ではなく、地球規模での解決が必須である。「文明の衝突」の問題、地域主義の問題も提起されている。国際関係を理解するための基礎的知識を提供する。

【講義計画】 本講では、前期の国際政治・経済の理解に基づき、重要な国・地域の対外関係——日本の外交、英米の外交、ソ連の外交、東南アジアの外交——を整理し、21世紀への展望として、国連へ新しい視点でアプローチし、人口・食糧・環境問題等の国家を超えた地球規模の広がりをもつ問題への理解を深めるための講義にしたい。「冷戦を超えた」平和の世界秩序、21世紀への展望を構想する。映像ソフトを使用する。
何より今日の国際社会の政治・経済の問題に関心を持ち、注意を向けることが必要である故、毎日、新聞・テレビの報道に接することが求められていることを履修者は認識すること。

【評価方法】 レポート or ブック・レビュー点、定期試験、出席に基づき総合的に評価。

【参考図書】 高坂正堯『平和の危機の構造』(NHKライブラリー)
高坂正堯『現代の国際政治』(講談社学術文庫)
猪口邦子『戦争と平和』(東大出版会)
野林健他編『国際政治経済学・入門』(有斐閣)
高谷定國他著『グローバル時代の政治』(ミネルヴァ書房)
松本三郎他編『テキストブック国際政治』(有斐閣)
野田宣雄著『二十世紀をどう見るか』(文春新書)
石田雄著『平和の政治学』(岩波新書)
太田一男著『国家を超える視角』(法律文化社)
石川謙次郎著『ヨーロッパ連合への道』(NHKブックス)
チャールズ・オーバピー著『地球憲法第9条』(講談社インターナショナル)

科目コード	科目名	指定	年次	単位	期間	担当者
34451	歴史研究の基礎A	選・必	2	2	前期	川島 正樹
他の科目との関連	後期の「歴史研究の基礎B」を続けて受講することが望ましい			他学科履修	可	重複履修 不可

【副題】 アメリカ合衆国の歴史(その1:植民地時代から再建期終了まで)

【講義内容】 現在日本ともっとも深い関係にある国の一つである、アメリカ合衆国(以下、「アメリカ」と略記)の歴史を、「異文化遭遇」「多文化主義」「自由と不自由の併存」「人種」「ジェンダー」をキーワードに、植民地時代から独立革命期を経て南北戦争後までを概観することを目指します。この授業では担当教官からの一方通行的な授業になることを極力回避するよう努めます。担当者は授業中、特に各章のはじめにいくつかの問いかけを發し、受講生は各章の終わりの時点でそれに答えなければなりません。毎回の授業で質問や意見の発表を積極的に行うことも奨励されます。

【講義計画】 次のような要領で授業を進める予定です。()内の数字は予定授業回数を表します。
1. はじめに:アメリカ史研究の手がかり(研究史と「アメリカ史のサイクル」)(1)
2. 植民地の建設:近代世界システムにおける異文化遭遇と「多文化」の起源(2)
3. 植民地の発展から独立へ:近代世界システムの発展と初期共和国の諸問題(2)
中間テスト(1)
4. 「ジャクソニアン・デモクラシー」と奴隷制の発展:自由と不自由の同時発展(2)
5. 南北戦争:戦争への道程と戦争の結果(2)
6. 未完の革命としての南部再建の可能性と限界:連邦制の再編と再定義される「人種」(2)
期末テスト(1)

【評価方法】 中間テストと期末テスト(ともに論述問題を含む)に、授業中の意見発表を加点

【テキスト】 特に指定しませんが、以下の参考文献のうちどれかは必ず読むことを強く希望します(授業は予めこれらの参考文献を読んでおくことを前提として進めます)。また洋書は和書の最後に挙げたものの原書を幾分はしよったもので、米国の大学教育における標準的テキストです。アメリカ史だけでなくアメリカをフィールドとする地域研究を志望する受講生には最適かつ必須の書物として推薦します。

和書

野村達朗編著『アメリカ合衆国の歴史』（ミネルヴァ書房、1998年）
 安武秀岳『大陸国家の夢』、野村達朗『フロンティアと摩天楼』、上杉忍『バクス・アメリカーナの光と陰』（講談社現代新書 929, 933, 938）
 ロナルド・タカキ『多文化社会アメリカの歴史』（明石書店、1995年）
 メアリー・ベス・ノートン他『アメリカの歴史（全6巻）』（三省堂、1996年）

洋書

Mary Beth Norton, et al., eds., *A People and A Nation: A History of the United States, Brief ed.* (Boston: Houghton Mifflin, 1995)

科目コード	科 目 名	指 定	年 次	単 位	期 間	担 当 者
34452	歴史研究の基礎B	選・必	2	2	後期	川島 正樹
他の科目との関連	前期の「歴史研究の基礎A」を受講しておくことを強く希望する			他学科履修	可	重複履修 不可

【副 題】 アメリカ合衆国の歴史（その2：19世紀末から現代まで）

【講義内容】 現在日本ともっとも深い関係にある国の一つである、アメリカ合衆国（以下、「アメリカ」と略記）の歴史を、前期の「歴史研究の基礎A」に引き続いて、再建時代から19世紀末と両大戦を経て現代までを概観することを目指します。この授業では担当教官からの一方通行的な授業になることを極力回避するよう努めます。担当者は授業中、特に各章のはじめにいくつかの問いかけを發し、受講生は各章の終わりの時点でそれに答えなければなりません。毎回の授業で質問や意見の發表を積極的に行うことも奨励されます。

【講義計画】 次のような要領で授業を進める予定です。（ ）内の数字は予定授業回数を表します。
 1. はじめに：「アメリカ例外主義」の再検討（アメリカ的「保守」対「革新」の成立と揺らぎ）（1）
 2. 再建後のアフリカン・アメリカンの運命：ポピュリズムと人種差別体制の再確立（2）
 3. 革新主義と帝国主義：大陸内の膨張主義から海外へ（2）
 中間テスト（1）
 4. 第1次大戦から第2次大戦まで：戦後の繁栄、恐慌、そしてニューディールから再度の戦争へ（2）
 5. 冷戦と自己満足の時代：覇権国家の内政と外交（2）
 6. 60年代から80年代への道程：抗議運動の高揚と衰退、右傾化へ（2）
 期末テスト（1）

【評価方法】 中間テストと期末テスト（ともに論述問題を含む）に、授業中の意見發表を加点します。

【テキスト】 特に指定しませんが、以下の参考文献のうちどれかは必ず読むことを強く希望します（授業は予めこれらの参考文献を読んでおくことを前提として進めます）。また洋書は和書の最後に挙げたものの原書を幾分はしよったもので、米国の大学教育における標準的テキストです。アメリカ史だけでなくアメリカをフィールドとする地域研究を志望する受講生には最適かつ必須の書物として推薦します。

和書

野村達朗編著『アメリカ合衆国の歴史』（ミネルヴァ書房、1998年）
 安武秀岳『大陸国家の夢』、野村達朗『フロンティアと摩天楼』、上杉忍『バクス・アメリカーナの光と陰』（講談社現代新書 929, 933, 938）
 ロナルド・タカキ『多文化社会アメリカの歴史』（明石書店、1995年）
 メアリー・ベス・ノートン他『アメリカの歴史（全6巻）』（三省堂、1996年）

洋書

Mary Beth Norton, et al., eds., *A People and A Nation: A History of the United States, Brief ed.* (Boston: Houghton Mifflin, 1995)

科目コード	科 目 名	指 定	年 次	単 位	期 間	担 当 者
34453	歴史研究の基礎C（スペイン近世）	選・必	2	各2	前期 後期	芝 修身
34454	歴史研究の基礎D（スペイン中世）					
他の科目との関連				他学科履修	可	重複履修 不可

- 【講義内容】 A) スペイン黄金時代を主に取り上げたい。すなわち、カトリック両王の時代からフェリペ四世の時代までの200年弱である。この時代はスペインが相対的に孤立した中世とは逆に、ヨーロッパの表舞台に登場し、ヨーロッパ政治を指導した時代である。日本ではともすれば、この時代のヨーロッパ政治はイギリスやフランスを中心に語られがちであるが、本講義ではスペインを主役に講義したい。外交分野と同様に興味深く、かつ重要な社会・経済構造についても言及したい。黄金世紀のスペイン人の精神構造におけるもっとも重要な二つの要因たる、イタルゴ精神と純血意識を説明し、当時のスペイン人像に迫り、そこから作り出される黄金世紀の社会を描き出したい。また過剰なまでの対外政策を交えた経済構造を分析し、スペイン衰退の要因を明らかにしたい。具体的には、毛織物工業と農業に問題点を分析し、スペイン経済構造の脆弱さを指摘したい。
- B) スペイン中世を特徴づけているもっとも重要な出来事はイスラムのイベリア半島への侵入とその後のキリスト教徒による巻き返し、いわゆるレコンキスタである。8世紀初期から、15世紀末までの、8世紀近くにわたるイスラムの存在はどのような痕跡をイベリア半島に残したのであろうか。同時にレコンキスタはスペインの政治的・経済的・社会的・精神構造に著しい影響を与えたと推定されるが、それは果たしてどのようなものであったか。このようにイベリア半島ではイスラム教徒とキリスト教徒が長期にわたり相剋と共存を繰り返したが、重要なもう一つの存在にユダヤ人がある。スペインではユダヤ人は宮廷においてのみならず、商業、手工芸、農業、金融業等ほとんどあらゆる分野で活躍していた。これら三教徒の平和共存と葛藤がスペイン中世のもう一つの特徴である。この興味深い関係についても述べたい。

【講義計画】 必要史料は随時クラスで配布する。
芝担当の演習希望者は履修しておくこと。

科目コード	科 目 名	指 定	年 次	単 位	期 間	担 当 者
34501	文化研究の基礎	選・必	2	2	後期	土田友章
他の科目との関連				他学科履修	可	重複履修 不可

【講義内容】 文化を考えようとしても、あまりに広範であり複雑で、どこに手がかりを見つけたらよいかを誰しも悩む。ここでは、とりわけ精神文化に焦点を絞りながら、文化を考える視座と方法を、比較精神史の論文を読解しながら、考えてゆく。今年度は、精神医学の木村敏と、比較宗教史のW.C.Smithを主として考えてゆこう。

【評価方法】 それぞれの教材の予習、クラスでの発表、短いレポートなどが要求される。

【テキスト】 教材は、主として複写印刷物を用いるが、Smithの論文は英文である。

科目コード	科 目 名	指 定	年 次	単 位	期 間	担 当 者
34701 34705	中級英語会話Ⅰ、Ⅱ	自	2~4	各1	前期 後期	D. Dycus
他の科目との関連				他学科履修	可	重複履修 不可

【講義内容】 The main objective of this course will be to help learners consolidate their knowledge of English while learning new words, expressions, and structures. This will be done by studying and discussing topics, which provide a framework for language practice and development. There will also be a focus on phrasal verbs.

【講義計画】 Discussion topics will be drawn largely from the textbook and occasionally from newspaper articles and current news, grammar, vocabulary, and expressions will be studied as they relate to topics under discussion.

【評価方法】 Final grades will be based ① on attendance and participation and ② a final, end-of-semester written test.

【テキスト】 Passages by Jack Richards and Chuck Sandy Cambridge University Press. (REQUIRED!)

科目コード	科目名	指定	年次	単位	期間	担当者
34711 34715	中級英語作文Ⅰ、Ⅱ	自	2~4	各1	前期 後期	堀部 憲夫
他の科目との関連				他学科履修	可	重複履修 不可

【講義内容】 英作文の最終目的は自由英作文、つまり、英語で自分の考えていることを自由に表現できるようになることである。しかしそこに至には必要なステップをふまなければならない。最初の段階から自分勝手な英文を書いていると、日本語的な発想による英文の枠から抜け出すことが難しくなるので、最初にモデル・パラグラフを示し、モデルにならって言ったり書いたりする練習をして、徐々に変化を加えていく。そして単文ではなく、まとまったパラグラフが書けるようになるであろう。モデル・パラグラフは学生の興味のある話題に関してである。

前、後期共に内容はよく似ているが、モデル・パラグラフは異なり、恐らく講義内容の3のBook Annalysis以後ぐらいから後期になる。

【講義計画】

1. About Self: Personal Introduction, Family Description, Home Town, and Hobbies
2. About School: Cancelled Classes, Club Activities, Exams, and Teacher Description
3. Book Reviews and Descriptions: Book Summary, Book Analysis, Place Description, and Situation Description
4. Diaries: "One of those days"-A Holiday, An Illness
5. Letters: Friendly Invitation, Declining a Friendly Invitation, Thank-you, and job Inquiry

【評価方法】 授業における参加と定期試験の成績により評価する。

【テキスト】 A New Way to English Writing
著者 斉藤宏也 (成美堂)

科目コード	科目名	指定	年次	単位	期間	担当者
34721 34725	上級英語会話Ⅰ、Ⅱ	自	2~4	各1	前期 後期	J. Williams
他の科目との関連				他学科履修	可	重複履修 不可

【講義内容】 In this course we will use the textbook "Short Stories for the Creative Language Classroom" as a springboard for discussions, debates and short oral presentations.

【講義計画】 Students will be required to read the stories before each class and to bring a list of questions about the stories to discuss as a group. We will try to relate the stories to the students' own experience and to issues of importance in Japan today. The aim of the course will be to increase students' ability to express their opinions and to discuss slightly abstract topics.

【評価方法】 Evaluation will be based entirely on students' contribution to the class and their oral presentations.

【テキスト】 Short Stories for the Creative Language Classroom
Slater and Collie-Cambridge

科目コード	科目名	指定	年次	単位	期間	担当者
34731 34746	上級英語作文Ⅰ、Ⅱ	自	2~4	各1	前期 後期	L.Davies 他
他の科目との関連	英米科開講の 31201 ~ 31216 「英語ライティングⅢ、Ⅳ」で充当。			他学科履修	可	重複履修 不可